

研究の構想

学校教育目標

夢と希望をもち 未来にはばたく つばさっ子の育成

- あかるく (徳) 明るい心とやさしい心をもった子を育てる
- つよく (体) 強いからだをもったねばり強い子を育てる
- かしこく (知) 自分で考え判断し表現する賢い子を育てる
- なかよく (コミュニケーション) 友達など他の人と仲よく関わる子を育てる

- 教師・保護者の願い
- 自ら学ぶ力を付けてほしい。
 - 進んでコミュニケーションがとれる子になってほしい。

- さいたま市
- さいたま市の学校教育推進の指針・指導の努力点等
 - さいたま市学校教育ビジョン
 - ・「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子ども
 - ☆クリティカルシンキングのできる子ども

研究テーマ

自分の思いや考えをもち、生き生きと表現する児童の育成

理解や表現を通して思いや考えをもつ。その過程で **【思考力・判断力を育てる】** 自身の思いや考えを相手に伝える。その過程で **【表現力を育てる】**

サブテーマ

児童主体の言語活動の具体化と充実を通して(国語科)

目指す児童像

- ◎ 児童主体の言語活動を通して、自分の思いや考えをもつことができる子
- ◎ 相手の考えを受け止め、目的をもって自分の考えを表現し伝え合うことができる子
- ◎ 学習や生活の中で、主体的に言語活動を行い、進んでコミュニケーションを図る子

研究の仮説

仮説1

「付けたい力」を明確にし、交流を重視した「単元構成」と「言語活動の具体化」を図れば、自分の思いや考えをもったり表現したりする力を育成することができるだろう。

仮説2

子どもが、相手意識・目的意識をもって「自ら学ぶ学習スタイル」を確立すれば、自ら表現したりコミュニケーションを図ったりすることができるだろう。

言語活動の具体化

- 1 付けたい力の明確化
- 2 交流を重視した単元構成
- 3 言語環境の整備と充実
- 4 指導と評価の一体化

単元を構想する

自ら学ぶ学習スタイル

- 1 学習の見通しと振り返り
- 2 交流を重視した学習形態
- 3 様式・モデル学習の重視
- 4 司会・進行の位置付け

教学指1第6282号
平成25年10月28日

市立各小・中・高等・特別支援学校長 } 様
市立幼児教育センター附属幼稚園長

さいたま市教育委員会教育長 稲葉 康久
さいたま市立つばさ小学校長 鯨井 幹夫

平成24・25年度 さいたま市教育委員会委嘱(研究推進)

コミュニケーション力の育成(国語科)研究発表会の開催について(案内)

このことについて、下記のとおり開催しますので、貴職及び関係職員の参加について配慮願います。

記

- 1 研究主題 「自分の思いや考えをもち、生き生きと表現する児童の育成」
- 2 日時 平成26年1月24日(金) 13:00 ~ 16:40
- 3 会場 さいたま市立つばさ小学校
所在地 さいたま市北区宮原3丁目902番地の4
電話番号 048-661-0283
- 4 指導者 京都女子大学発達教育学部教育学科教育学専攻 教授 井上 一郎
さいたま市教育委員会指導主事 (敬称略)
- 5 日程

受付	公開授業	全体会・研究協議会	講演会
13:00~13:20	13:20~14:05	14:25~15:05	15:10~16:40

